

講談社の
テレビ絵本
1594

プリキュアオールスターズ

おともだち
よみかかせ
絵本シリーズ

プリキュアオールスターズ
おともだち
よみかかせ

ハピネス☆プリキュア!

名作えほん

2



しらゆきひめ



おおきな かぶ



プリキュアと いっしょに めいさくの せかいへ!

♥おうちの方へ♥

お子さんの大好きなプリキュアたちが物語の登場人物になることで、お話をより身近に感じてもらえるでしょう。物語に興味をもったり、絵をながめながら文字を覚えたりすることによって、名作の世界に親しむきっかけにしてください。



おめきな かぶ



おめきな かぶ

おめきな



おめきな かぶ



いぬ



くるかわ
エレン

こども



しらべ
アコ

おばさん



みなみの
かなて

おじさん



ほうじょう
ひびき

ねずみ③



ひがし
せつな

ねずみ②



あおの
みき

ねずみ①



やまぶき
いのり

ねこ



ももぞの
うづ



しらゆきひめ



こびと③



よつば
ありす

こびと②



ひしかわ
りっか

こびと①



あいだ
マナ

しらゆき
ひめ



まどか
あくり

こびと⑦



おおもり
ゆうこ

こびと⑥



しらゆき
ひめ

こびと⑤



あいの
めぐみ

こびと④



けんざき
まこと

ひかりおね

ひかりおね



おおきな かぶ

あるひ、
おじさんが はたけに
かぶの たねを まきました。
「あまい かぶに なあれ。
おおきな かぶに なあれ。」
まいにち、みずを かけて
だいに そだてました。

すると、

とても おおきな

かぶが できました。

おじさんは、

さっそく かぶを

ぬぐって しました。

「うんとこしょ。

どっこいしょ。」

ところが かぶが

おおきすぎて、

ひとりでは ぬけません。



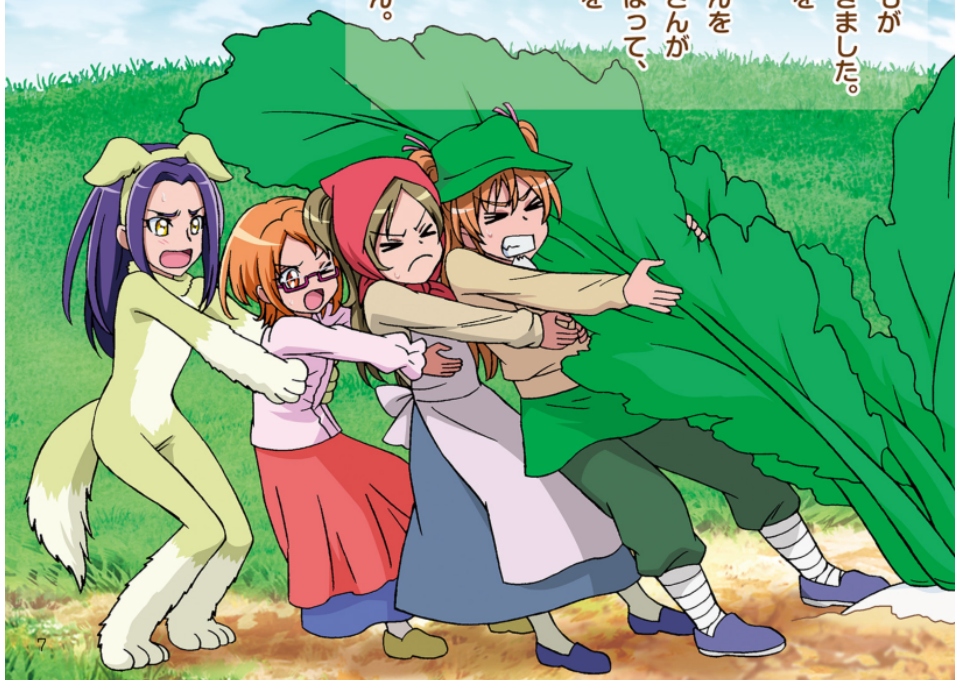
そこで、
おじさんは
おばさんを
よんで きて、
てつだって
もらう ことに
しました。
「うんうんじよ。
どっこいじよ。」
おじさんと
おばさんは、
ちからを
あわせて
ひっぱりました。
しかし、
かぶは
ぬけません。



そこで、おぼさんは
こどもを よんで きて、
てつたって もらう
ことに しました。
こどもが おぼさんを
ひっぱって、おぼさんが
おじさんを ひっぱって、
おじさんが かぶを
ひっぱります。
「うんとこしょ。
どっこいしょ。」
それでも、
かぶは めけません。



こんどは、こどもが
いぬを よんで きました。
いぬが こどもを
ひっぱって、
こどもが おばさんを
ひっぱって、おばさんが
おじさんを ひっぱって、
おじさんが かぶを
ひっぱります。
「うんとこしょ。
どっこいしょ。」
まだまだ
かぶは、ぬけません。



そこで、いぬは、ねこを
よんで、きました。
ねこが、いぬの
しっぽを、ひっぱって、
いぬが、こどもを
ひっぱって、こどもが
おばさんを、ひっぱって、
おばさんが
おじさんを、ひっぱって、
おじさんが
かぶを、ひっぱります。
「うんとこしょ。
どっこいしょ。」
どうしても
かぶは、ぬけません。



それで いよいよ
ねこが、ねずみたちを
よんで きました。
ねずみたちが、ねこの
しっぽを ひっぱって、
ねこが いぬの しっぽを
ひっぱって、いぬが
こどもを ひっぱって、
こどもが おばさんを
ひっぱって、おばさんが
おじさんを ひっぱって、
おじさんが かぶを
ひっぱります。
「れつに なって、
ちからを いれます。
「うんとこしょ！
どっこいしょ！
うんとこしょ！
どっこいしょ！」







しらゆきひめ

むかし、ある
くにのおじろで、
かわいいおんなの
あかちゃんが
うまれました。
ゆきのように
いろがしろいので、
しらゆきひめと
なまえが
つけられました。
やがて、
おかあさんの
おきさきさまが
なくなつてしまい、
あたらしい
おきさきさまが
やつてきました。

あたらしい

おきさきさまは

きれいなひとでしたが、
とても いじわるでした。

まほうの かがみを

もって、いて、

いつも じぶんの

すがたを うつします。

「かがみよ、かがみ。

この くにて いちばん

うつくしいのは、だあれ？」

すると、かがみが

こたえます。

「いちばん

うつくしいのは、

おきさきさまです。」

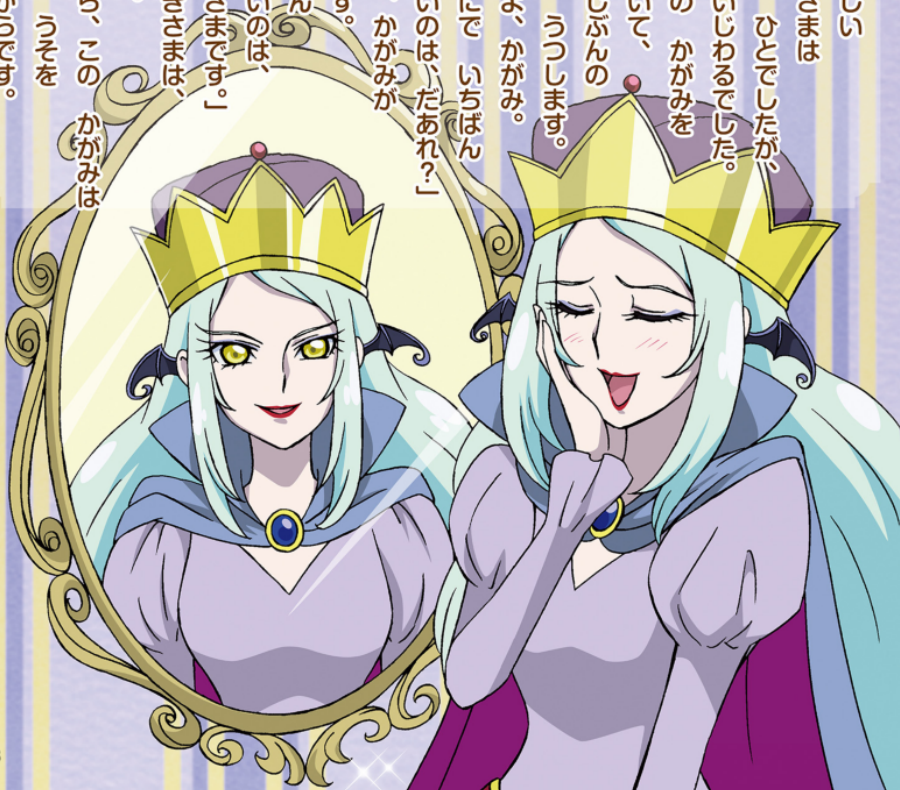
おきさきさまは、

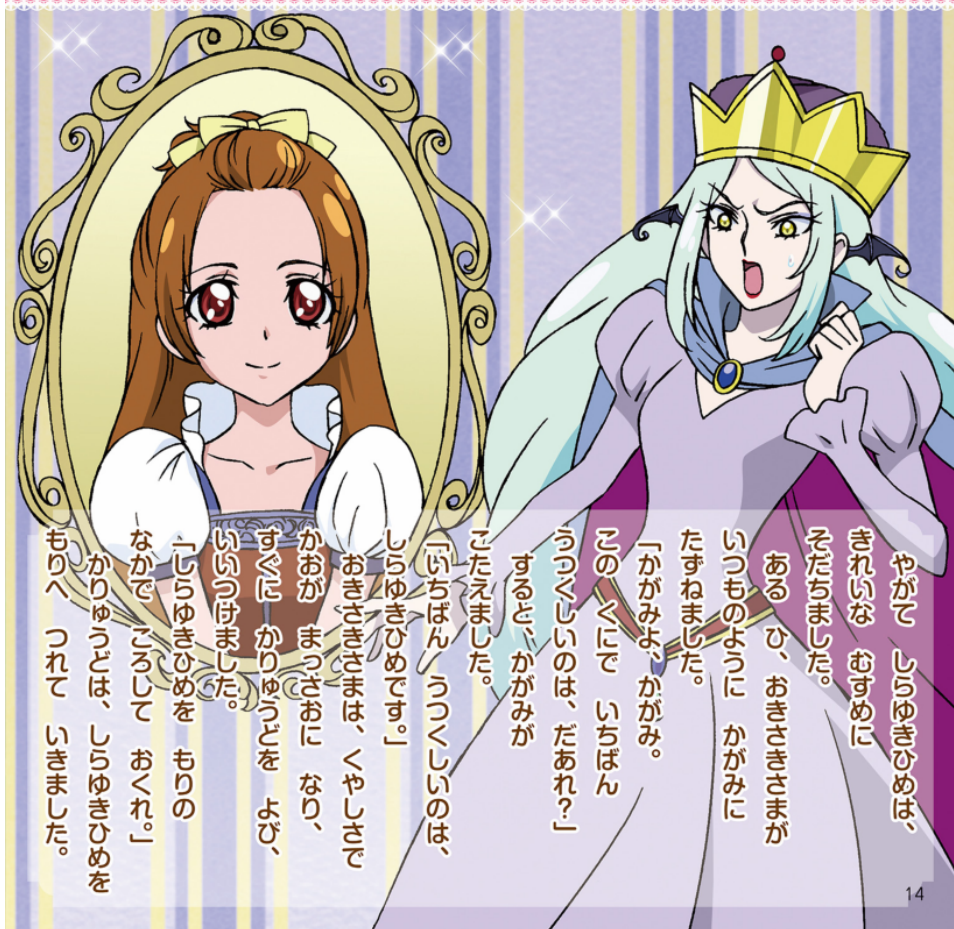
うっとり。

なぜなら、この かがみは

けっして うそを

つかないからです。





やがて しらゆきひめは、
きれいな おすめに
そだちました。

ある ひ、おきさきさまが
いつものように かがみに
たずねました。

「かがみよ、かがみ。
このくにで いちばん
うつくしいのは、だあれ？」

すると、かがみが
こたえました。

「いちばん うつくしいのは、
しらゆきひめです。」

おきさきさまは、くやしきで
かがが まっさおに なり、
すぐに かりゆとを よび、
いいつけました。

「しらゆきひめを もりの
なかで ころして おくれ。」

かりゆとは、しらゆきひめを
もりへ つれて いきました。

「かわらそうな
おひめさま。」

かりゆきひめ、

こっそり

しらゆきひめを

にがして やりました。

ひとりぼっちの

しらゆきひめは、

しゅんぽりと もりの

おくへ おくへと

あるいて いきました。

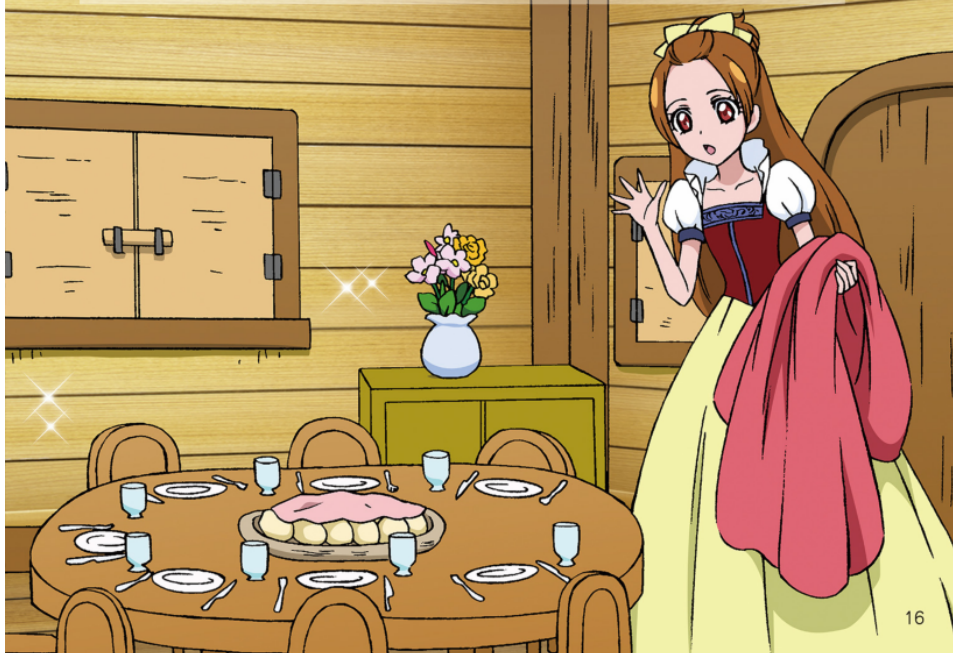
すると、「げんの

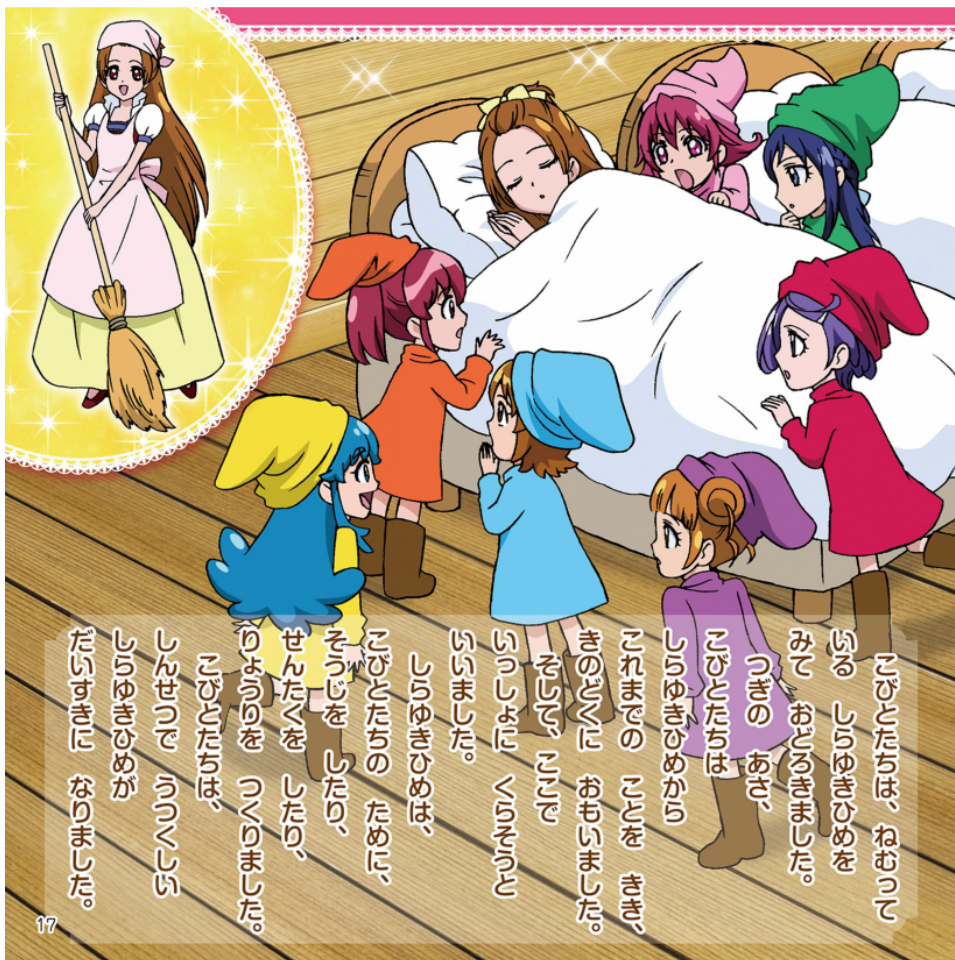
ちいさな いえを

みつけました。



いえの なかには
テーブルが あって、
七まいの おさらと
七つの コップ。
おくには
七つの ベッドが
ならんで います。
つかれて いた
しらゆきひめは、
ベッドへ
もぐりこみました。
しばらく すると、
いえに 七にんの
こびとが もどって
きました。
ここは、
こびとたちの
いえだったのです。





こびとたちは、ねむって
いる しらゆきひめを
みて おどろきました。
つぎの あさ、
こびとたちは
しらゆきひめから
これまでの ことを きき、
きのどくに おもいました。
そして、ここで
いっしょに くらそとと
いました。
しらゆきひめは、
こびとたちの ために、
そうじを したり、
せんたくを したり、
りょうりを つくりました。
こびとたちは、
しんせつで うつくしい
しらゆきひめが
だいすきに なりました。

ある ひ、おきさきさまが

いつものように

かがみに たずねます。

「この くいで いちばん

うつくしいのは、だあれ？」

「いちばん うつくしいのは、

もりで せにんの こびとと

くらす しらゆきひめです。」

おどろいた

おきさきさまは、ものうりの

おばあさんに ばけて、

こびとの いえへ

むかいました。

「くしは いらんかね。」

しらゆきひめは、

おきさきさまを

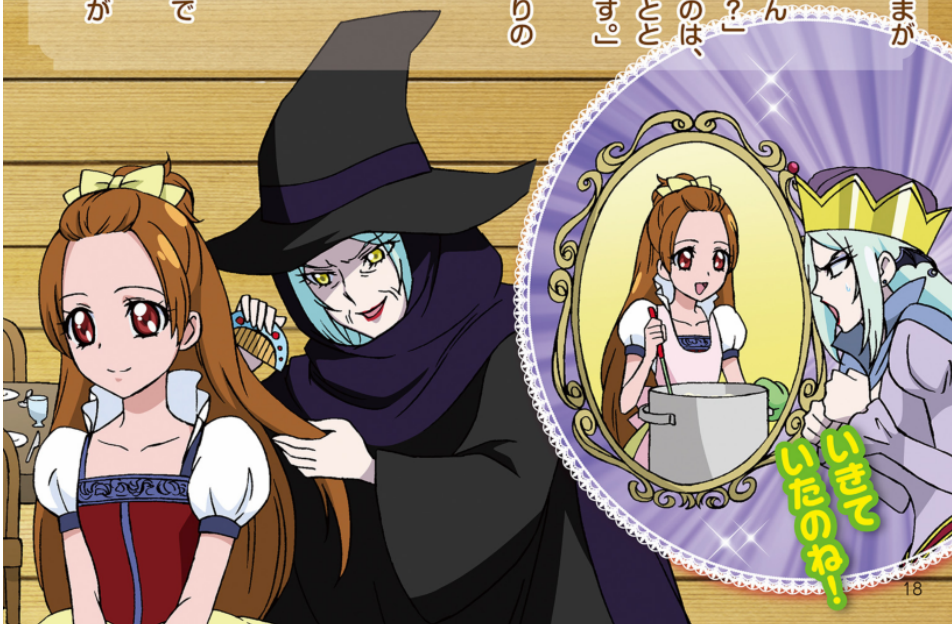
いえへ いれました。

おきさきさまが くして

かみを すくと、

とたんに しらゆきひめが

たおれました。



その くしには、
おそろしい どころが
ぬって あったのです。

しごから もどった
こびとたちは、たおれて
しらゆきひめを みて
おどろきました。

かみから すばやく くしを
ぬきとると、しらゆきひめは
いきを ふきかえました。

つぎの ひ、こびとたちは、
「だれが きても いえに
いれては だめだよ。」
と いって、

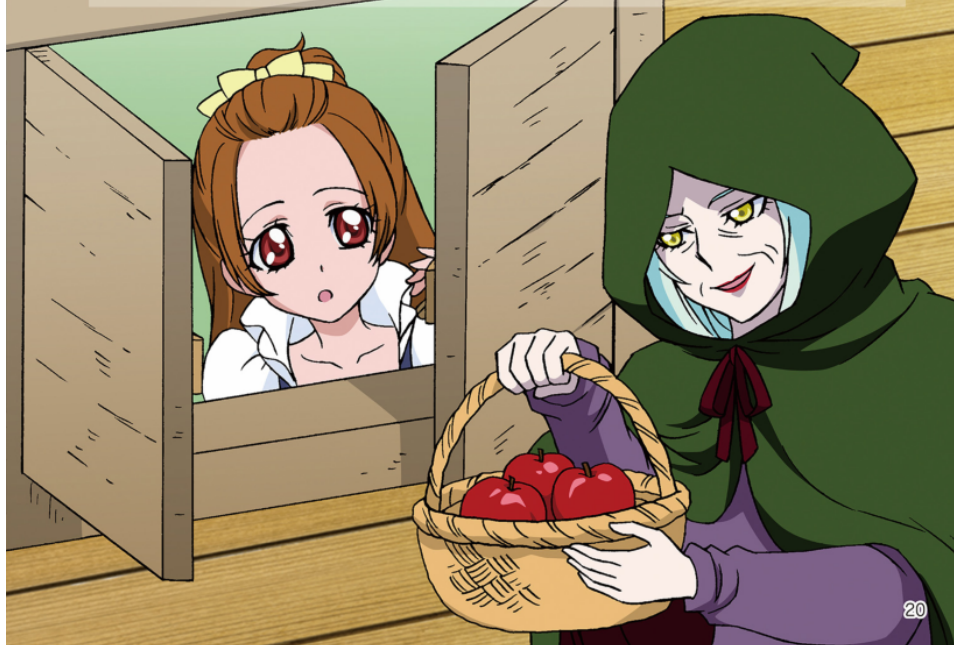
しごとへ いきました。

おしろでは、おきさきさまが
かがみに たすねます。

でも、やっぱり こたえは
「しらゆきひめ」です。



おきさきさまは
おこり、こんどは
りんごうりの
おばあさんに
ばけました。
「おいしい りんごは
いらんかね。」
しらゆきひめは
まどから そっと
のぞいて みました。
おきさきさまが
まどの そとから、
はんぶん に わった
りんごを
しらゆきひめに
わたします。
そして、
もう はんぶんを
おきさきさまが
たべました。





あんしんした
しらゆきひめは、
りんごを ばくり。
たちまち たおれ、
しんで しまいました。
その りんごは、
しらゆきひめが
たべた はんぶんだけに
どくが ぬって
あったのです。



こびとたちは かなしみ、
なきつづけました。

ガラスの はこに

しらゆきひめを ねかせて、
けしきの いい ところに
おきました。

ある ひ、となりの くいの
おうじさまが とおりかかり、
ガラスの はこを みつけます。

おうじさまは、

こびとたちから

しらゆきひめの かなしい
できごとを ききました。

「この うつくしい ひめを、
わたしに ください。」

おうじさまが

いっしょうけんめいに

たのもので、こびとたちは
しらゆきひめを わたしました。

おうじさまが くにへ
かえる とちゅうで、

はこを はこぶ

けらいが、

きに つまずいて

ころびそうに

なりました。

はこが がくと

ゆれた その とたん、

しらゆきひめの

のどから、

どくりんごが ぼろんと

とびだしました。

すると

しらゆきひめが、

ぱつちりと

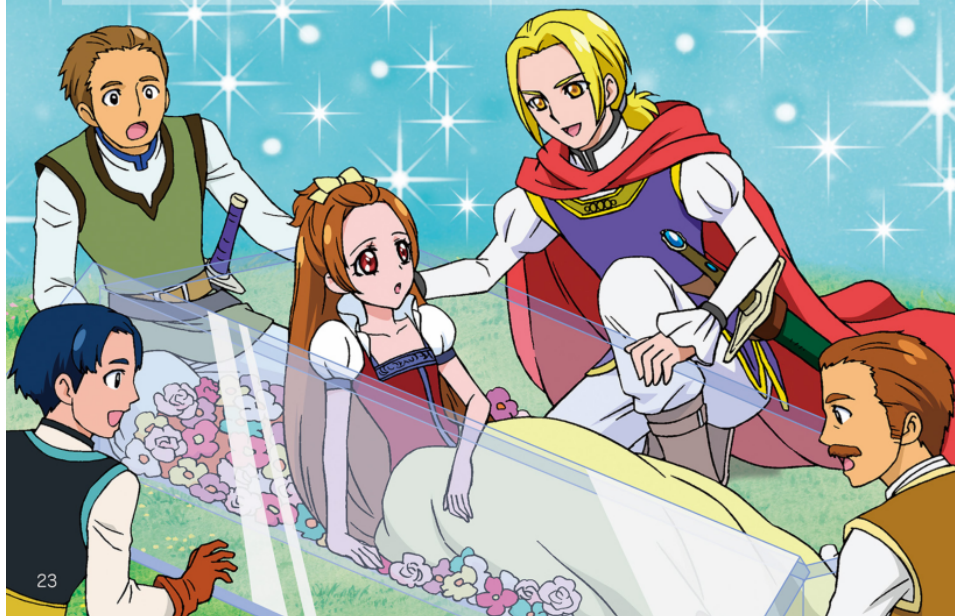
めを あけたのです。

「おー、ひめが

いきかえた！」

おうじさまは

よろこびました。



「わたしの つまに なって ください。」
「はい、おうじさま。」

くへ かえると、おうじさまと しらぬきひめの
おいわいの パーティーが ひらかれました。
パーティーには、七にんの こびとも しょうたいされました。
そして、ふたりは なかよく しあわせに くらしました。

(おわり)



おはなしの なかで かつやくした おんなの こが プリキュアに
へんしんよ! だれが どの プリキュアに へんしんするのかしら?

おはなしの
なかで



おはなしの なかから まじって おはなすー!



プリキュアが おはなしの
しゅじんこうに なるよ!



名作えほんシリーズ



プリキュアオールスターズ 名作えほん①

くるみわりにんぎょう きんの がちょう

- ♥ハビネスチャージプリキュア!
- ♥Yes! プリキュア5 Go Go!
- ♥ふたりは プリキュア スプラッシュスター
- ♥ふたりは プリキュア マックスハート



プリキュアオールスターズ 名作えほん②

おおきな かぶ しらゆきひめ

- ♥ドキドキ!プリキュア
- ♥スイートプリキュア♪
- ♥フレッシュプリキュア!
- ♥ハビネスチャージプリキュア!



プリキュアオールスターズ 名作えほん③

にんぎょひめ こびとの くつや

- ♥スマイルプリキュア!
- ♥ハートキャッチプリキュア!
- ♥ハビネスチャージプリキュア!

プリキュアが
せんいん
とうじょう!

講談社のテレビ絵本 1594

おともだち よみきかせ絵本シリーズ
プリキュアオールスターズ
おおきな かぶ しらゆきひめ

2014年6月30日 第1刷発行

■発行者 持田克己

■発行所 株式会社 講談社

東京都文京区音羽2-12-21(〒112-8001)

■印刷・製本/図書印刷株式会社

■絵/東映アニメーション

■構成/萩谷美可 ■デザイン/パッドビーンズ

©ABC・東映アニメーション

名作えほん②

Printed in Japan

雑誌 64002-80

ISBN978-4-06-344594-7

C9474

落丁本・乱丁本は、購入書店名を明記のうえ、小社業務部(電話03-5395-3603)までにお送りください。
送料小社負担にてお取り替えいたします。なお、この本についてのお問い合わせは、プレススクール第二出版部(おともだち)までお願いいたします。本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での特例を除き禁止されています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

※予想外の事故(紙の端で手や指を傷つける等)防止のため、保護者の方は書籍の取り扱いにご注意ください。

本作品は、2014年6月、小社より講談社のテレビえほん（おともだち）として刊行されたものを電子書籍化したものです。

◎本電子書籍内の外部リンクに関して

ご利用の端末によっては、リンク機能が制限され正しく動作しない場合があります。また、リンク先のwebサイト、メールアドレス、電話番号は、事前のご連絡なく削除あるいは変更されることもございます。ご了承ください。

プリキュアオールスターズ 名作えほん②

おおきな かぶ

しらゆきひめ

2016年3月1日発行

絵 東映アニメーション

構成 萩谷美可

デザイン バッドビーンズ

©ABC・東映アニメーション

発行者 清水保雅

発行所 株式会社 講談社

東京都文京区音羽 2-12-21

〒112-8001

◎本電子書籍は、購入者個人の閲覧の目的のためにのみ、ファイルの閲覧が
許諾されています。私的利用の範囲をこえる行為は著作権法上、禁じられて
います。